



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

# The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2014 / 2015)

国際会長 「言葉より行動を」  
 アジア会長 「未来を始めよう、今すぐ」  
 西日本区理事 「響き合い、ともに歩む」  
 中部部長 将来を見つめたワイズ活動!」を今やってみよう!  
 名古屋クラブ会長 「みんなで創ろうワイズの未来」

2014 ~ 2015 10月号 (No811)

## 10月例会プログラム

と き: 2014年10月14日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.  
 ところ: 名古屋 YMCA

	司 会 小谷治郎君
開会宣言	会 長 千賀 将君
ワイズソング	
聖書朗読・祈祷	尾関 明君
食事	
卓話	
「超過疎地 × 観光 × インバウンドによる地域再生 ~中山間地域のありのままの暮らしをツーリズムと つなぐ~」 中川雄貴氏 (美杉リゾート代表取締役)	
諸報告	
ハッピーバースディ	
ドライバースピーチ	深谷 聡君
讚美歌 II 188	
閉会宣言	会 長 千賀 将君

## 熱海グローリー・紀の川クラブ 30周年 おめでとうございます

相馬 静香

我がDBC熱海グローリーは去る4月20日、紀の川は7月6日に、どちらも大勢の祝意の中、盛大に創立30周年記念祝会が開催されました。

各祝会は御報告済みですが、予てお勤めの紀の川例会・前夜祭に河部様と私が出席し、林奈良Y理事長御夫妻と熱海グローリー一方と名所ご案内頂いた事を感謝をもってまず報告させていただきます。

三木阪和部長の下紀の川新旧各役員交代式、井之上和歌山Y常務理事(総主事)や各ワイズ挨拶、海の幸会食、バンド演奏、ダンスと喜びに満ちた前夜祭にご招待頂き、嬉しく感謝でした。

7月5日11時ころしお号で到着。会場となるグランヴィア和歌山Hチェックイン後、駅で生駒直前会長方と熱海G8ワイズを出迎え、昼食会場銀平へ。1時バスでY出発。南方25km避難所兼ねる「稲むらの火の館」濱口梧陵記念館見学。大津波や広村大堤防築きで人々を救ったヤマサ醤油七代目当主の勝海舟や福沢諭吉との出会い等。求めた冊子での素晴らしい生涯に感動。翌朝「松下幸之助生誕地」等。ご案内の紀の川坂本様西岡様真弓様方、同行の熱海の皆様方のご交情ご親切に感謝でした。

同じ創立の年に締結された両クラブの複数のIBCや国内多くのクラブとの長年の良き交流・協同を出席者や記念誌から感じ、敬服でした。共に城をもつ名古屋我がクラブもDBCと親交を深め、学び前進し合う恵みに感謝しつつ、次のトライアングルDBC交流会に名古屋クラブ一同で両クラブの皆様を歓迎致します。

## 第2例会

と き: 2014年10月21日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.  
 ところ: 名古屋 YMCA  
 プログラム: 11月例会の件他

会 長 千賀 将	書 記 谷川 河部
副 会 長 渡辺 伊藤	会 計 義井 川口 塩田
プリテン 久保田 千賀 伊左治	

9月クラブ出席		B	F	9月個人出席							第一例会(9/9)				
在籍	23名	切手	375pt	飯田	五島	◎	深谷	◎			メネット	伊左治 尾関 小谷 西村 長井			
第1例会	19名	9月	現金 pt	伊左治	◎	小谷	◎	義井	◎		ゲスト	加藤さん 鬼頭さん 重留さん 杉本さん			
メネット	5名			伊藤	◎	塩田	◎	渡辺	◎						
第2例会	11名	累計(6~9月)	小計 375pt	尾関	◎	千賀	◎				第二例会(9/16)	ゲスト 大西(四日市)			
メネット	名			小尾	◎	相馬	◎				中部部会(8/31)	伊藤 川口 川本 河部 久保田 千賀 谷川 相馬 中村 義井 渡辺 小尾			
ゲスト・ピスター	2名	切手	650pt	川口	◎	谷川	◎				六甲部会(9/6)	川口 川本 西村 義井 渡辺			
メーキャップ	1名	現金	1500pt	川本	M	寺田	◎				阪和部会(9/13)	川本			
出席率	91.3%			河部	◎	中野	◎					京都部会(9/14)	川口 川本		
メネット会	名	小計	2150pt	木本	◎	中村	◎				中西部部会(9/20)	川口 川本			
ゲスト・ピスター	1名			久保田	◎	西村	◎					びわこ部会(9/21)	川口 川本		
												西中国部会(9/27)	川本		
												九州部会(9/28)	川本		
												京都トッポス200人例会(10/8)	川口		
												◎第1	○第2	◎第1・第2	Mメーキャップ

## ■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2014年9月9日（火）  
と ころ：名古屋 YMCA

9月の第一例会は、日韓ユースセミナー報告からはじまりました。深谷メンが、名古屋 YMCA 日韓ユースセミナー実行委員長という立場で参加、IBC 締結をしている聖岩クラブの例会にも出席し、歓待を受けたことなど、若かりユース時代に参加した韓国訪問の昔話などを交えて報告。次いで、名古屋 YMCA 重富スタッフが、パワーポイントによる写真映像をつかって8月25日～29日にかけて実施されたセミナーの詳細な報告を、参加したユースの立場にたって報告されました。故長井潤メンが復活、実施の労をとってくれた日韓ユースセミナーがこうして毎年、有意義に開催されていることを、改めて故人を偲びつつ喜びのうちに聞く報告となりました。

次いで、今月のメインプログラムは、我らが若きエース、千賀会長による卓話でありました。「ボケ防止には何が良

.....

## ■■■ 第2例会レポート ■■■

と き 2014年9月16日（火）  
と ころ 名古屋 YMCA

大西昭博中部部長がゲストとして出席

○10月・11月の第一例会プログラムについて確認

○12月例会 クリスマス祝会は、委員会（クラブサービスを中心に）を設けて、内容・費用を検討する。

○ワイズポテト 料金は10月第一例会に各自小谷君に支払うこと。搬入（到着）10月18日（土）午後2時です。

.....

## 中部部会報告

第18回中部部会が2014年8月31日四日市都ホテルにて行われました。名古屋クラブからは12名が参加しました。大西中部部長を先頭に中部9クラブの会長によるバナーセレモニーから開始され、大西部長の大会点鐘で開会されました。開会式では部長挨拶、田中四日市市長、松本西日本区理事の挨拶、中部評議会報告、メネット会報告がありました。大西部長は中部200推進委員会について言及され、中部におけるEMCの重要性を語られました。

開会式後は陸上自衛隊3等陸佐小田浩次氏による「東日本大震災に学ぶ」のテーマで講演がありました。改めて東日

い？」と題して、勤務されている中部ろうさい病院の作業療法士という立場から、検証的な話題を交えつつ話されました。結論的には、趣味的活動や人との交流は認知症予防の一助になる可能性があり、作業療法士の立場としては意志を持って取り組むこと、学ぶこと、仲間との情報交換・交流、実際に取り組んで内容を充実させていくことが重要であり、ぼけ防止にはワイズ活動は効果的ではないだろうかと話され、「ワイズを通して元気に過ごしましょう」と締めくくられた。

先月続いて参加されたゲストが複数おられ、新入会誕生の期待が膨らむ例会となりました。（谷川 修）



○例会に訪問されたゲストの方々には積極的に握手をする等歓迎の意を表した入会を促進する動きが必要である（EMC）

○-名古屋クラブ、プラザクラブ、南山クラブ合同で神沢YMCA支援の倉庫が建設されました。



本大震災の悲惨さや教訓を学ぶとともに、現在私たちが災害に対してどのような準備ができるのかを学び考える良い機会となりました。

記念講演後は懇親会が開かれました。熱海グローリーの勝又様、竹内様、和歌山紀ノ川クラブの土井会長も参加されておりました。また西日本区各地から部会への参加が得られ、全国のワイズメンと交流の場を持つことができました。懇親会ではオーケストラによる演奏や日舞のアトラクションがあり華やかな場を一層盛り上げておりました。

改めて全国のワイズメンと交流できる喜び、学びの場を持つ喜びを感じるこのことのできる部会であったと思います。

（千賀 将）

# 今月の聖句

「命じられたことを果たしたからといって、主人は僕（シハ）に感謝するだろうか。あなたがたも同じことだ。自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕（シハ）です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。」

ルカによる福音書 17：9～10

西村 清

この聖句は、イエス・キリストが弟子たちに信仰のあり方を教えられているところです。「取るに足りない」と訳されている言葉は、別な聖書には「ふつつかな」と訳されています。原語ではアクレイオイという言葉で、無益な、役に立たない、取るに足りない、といった意味を持った言葉です。

僕（シハ）はツローロスという言葉で、これは奴隷という意味です。奴隷というのはその主人に買われた者で、いわば主人のくもの>です。これだけ働いたなら、これだけ報酬を貰うという日給や月給が約束されて働いているわけではありません。主人の命じられたことを行うだけです。この聖句の

前にあります聖書には、畑で働いて、夕方帰ってきて、すぐに食事をしてよいということではなく、主人の夕食の用意をし、給仕をしなければならないのです。僕が主人の言いつけどおりにしてもそれは当然のことで、主人が感謝をすることを期待することは出来ないのです。その意味では、この僕はよくやっていますし、「取るに足りない」どころか、大いに役にたっているのです。いわば「役に立つ僕」であると言えます。

これと同じように、あなたがた弟子たちが、神に対する忠実な信仰をもって、神の御心に従った業をなしても、わたしたちは、なお十分なことしかできない僕です、なすべきことをしたに過ぎませんと、少しも誇ることなく、神の前に謙遜であるのが、本当の信仰の態度だ、というのです。

われわれワイズメンも「イエス・キリストの愛の教え」に基づいて活動する者として、イエス・キリストが弟子たちに教えられていることをそのまま受け止めることが大切なことと考えられるのではないのでしょうか。

## 六甲部会報告

9月6日六甲部会に参加しました。講演は関西大学名誉教授と言うより、私にとってはアメフト部の関学ファイターズの監督でいらっしゃった武田健先生の「心の育ち方、育て方」それがまるで漫談なのですが、吉本より面白く深くてためになりました。

武田先生は未だにアメフト部の新生に自らキャッチの基本を教えているそうです。関学すばらしくファイターズ恐るべしです。その後立食パーティーで登場した、石田由美ワイズまな娘たちで関学生フラダンスの可愛いこと！ほんと勉強に成り、楽しませていただきました。六甲部の皆様有り難うございました。（渡辺真悟）

## ★★★★★ YMCAニュース ★★★★★

- 根の上まつり 10月13日（月・祝）10：30～15：00  
名古屋YMCA根の上キャンプ場
- ピースフルサンデー 10月26日（日）  
南山YMCA
- 第21回チャリティーラン 11月1日（土）10：00受付  
11：30 個人レーススタート 12：00 チームレーススタート  
場所 名城公園
- YWCA・YMCA合同祈祷会 11月8日（土）13：30  
名古屋YWCA
- チャリティーゴルフ 11月8日（土）8時00分～受付  
会場：中部国際ゴルフクラブ

## ハッピーバースデー

メ ン	メ ネット
10月5日 飯田 和也君	10月3日 渡辺規子さん
5日 千賀 将君	
27日 深谷 聡君	

## BF

切手 尾関 明君	350pt
木本精之助君	25pt
計	375pt

## Happy Wedding Anniversary

10月6日 寺田仁計・純子夫妻

### 会計より 会費納入 のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。特別メネット会員は年額 24,000 円です。会費の納入は右記口座へ振込にてお願いします。できるだけ6ヶ月分 42,000 円を7月と1月に納入して下さるよう、お願いします。(3ヶ月分

ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781  
なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 10月メネット会ごあんない

と き 10月18日(土) 10:00～  
ところ 伊左治宅  
BFのお手伝いとして、古切手の整理を行います。  
使用済み古切手とハサミをお持ち下さい。

## 夏のリーダー報告会

出席：中村総主事、西村さん、五島さん、中野さん、渡辺  
「9月23日に南山YMCAで夏のリーダー活動報告会が開かれました。

夏の間リーダー達の活躍で様々なキャンプや行事が開催されたのが良く分かりました。

リーダーはYMCAの宝です。(渡辺真悟)

## 国際大会に参加して

第71回国際大会(インド：チェンナイ)が2014年8月7～10日で開催された。私にとって、海外の大会参加は初体験、又インド訪問自体も初めての事である。知人から、インドは気をつけろ!(水・空気・クルマ・ヒト)と言い渡されていたため、相当の覚悟を持って臨んだが、「拍子抜けするくらい安全じゃん!(但し、水はペットボトル、クルマはとても自分では運転できない)」というのが正直な感想であった。12億の人口を抱えるインドは、国土も相応に広く、今回訪問先のチェンナイ(南印)と首都デリー(北印)とでは、民族、言語、習慣・国民性?などが大きく異なる、とのガイドさんの話を聞き、納得。ただ、インド第4の都市であるチェンナイでも、道路・建物等、いたる所で工事中。町全体が大きく成長している姿を目の当たりにし、大きなエネルギーを体感する事ができた。

国際大会の様子は、理事通信9月号巻頭言での松本理事のレポートや、西宮クラブ小野メンのレポートに詳細があきらかである為、是非ご一読くださる様お奨めをし、ここでは割愛させていただく。

海外に旅をして得る恵みは、まず訪問国の様子を五感で体験できること、次に自国(日本)をほんの少し客観的に見ることを可能にしてくれる事だと思ふ。

日本のワイズメンの一人として今回の国際大会を振り返るとき、1万強のメンバー数を誇る、開催国インドエリアの大会参加者がわずかに152名(国際全体のメンバー数約3万人)ということが、大会終了後も尚、心の引っ掛かりから取れないである。高額な登録料が大きな理由らしいということではあるが、どんな理由であれ、日本では考えられない事態である。その割には3度の基調講演の内容が、

インド国内向けの話しに始終していたように思われるのも、何故?と言わざるを得ない。国民性の違いといわれればそれまでなんだけど……。



▲東・西日本区からの参加者一同

ワイズ国際のホットな話題としては、1.国際協働プログラムである、ロールバックマラリア(RBM)の3年間延長が決定。2.STEP For ALL・・・全てのワイズメンを対象にしたSTEPが新規事業として展開。3.新しい国での格調計画(東ベツレヘム、モンゴル、在米インド、中国、ビルマ、マケドニア等)の具現化。4.ワイズメンドクターズフォーラム(災害被災地でのワイズ医師団による医療活動)の発足などが挙げられている。いずれも後日、西日本区より詳細発表予定。

大会3日間のディナーを通じ、インド人はスパイス(カリー)しか食べないことを確信した事は、問題を感じながらも、私にとって大きな恵みであり喜びである。

イエス様の弟子の一人である「疑い深いトマス」は、復活のイエス様に「信じないものにならないで、信じるものになりなさい」と励まされた後、大宣教命令に従い、地の果て「インド」への宣教を買って出た話しは有名であるが、「St.Thomas,Mout 教会」がチェンナイを一望できる丘の上に、また、「トマスの墓カトリック教会」がチェンナイ市内にあり、その両方を見学できた事も、この旅の大きな恵みの1つであった事を記し、インド国際大会参加報告の雑感の結びとする。(川本龍資)